



JCSS

総数2頁の1頁
証明番号 33-004109

校正証明書

依頼者 株式会社 コナミコセイ
 住所 茨城県つくば市豊2-12
 測定機 電子スケール
 型式 TSC101-C3-PL-MDA
 製造番号 917917610 (管理番号: CN-179)
 製造者 株式会社 天川電機

校正項目 気体流量
 校正方法 JQA校正証明書(校正)の書番号 E3146(18)
 校正結果 既述の通り
 校正年月日 2019年9月5日
 校正実施場所 愛知県北名古屋市東部中山道53番地の1
 一般財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター
 愛知県北名古屋市東部中山道53番地の1

校正結果は以上のとおりであることを証明します。

2019年9月6日

愛知県北名古屋市東部中山道53番地の1
 一般財団法人 日本品質保証機構
 中部試験センター

田中 洋



この証明書は、計量法第25条第1項に基いて発行されたものであり、特許権等(国家特許)により保護された技術情報により作成された結果を示すものではありません。

誤差による承認のために、この証明書のメーカーが一定の公差を再測定して使用することを許します。本センターは、JQA/JQC/JQAS/JQMSに基づき検査機関として認定されています。

校正結果

校正圧力値 (kPa)	表示値 (kPa)		圧縮率変化 (kPa)	圧縮係数 μ
	昇圧	降圧		
0.25000	0.2501	0.2498	0.00014	2
0.50000	0.5002	0.4999	0.00014	2
1.00000	1.0003	0.9999	0.00015	2
2.00000	2.0003	1.9998	0.00015	2
4.00000	4.0004	4.0003	0.00001	2
10.0000	9.9998	9.9997	0.0016	2

圧縮率変化は、上記の圧力係数から決定したもので、約5%の信頼の水準をもつと推定される見込みである。

1. 校正条件

- ・ 校正は標準器との比較測定により実施した。
- ・ 圧力値は過圧であり、1.5倍程度の媒体とした。
- ・ 校正開始時に予備圧入量を20%行った。
- ・ 測定は昇圧・降圧の圧力変化で行った。
- ・ 各測定点では、サンプル毎に測定値を10データを取得し、その平均値を計算に用いた。昇圧時、降圧時それぞれについて、上記3回の平均から、表示値を算出した。
- ・ 大気開放時にゼロ点調整を行って確認を行った。
- ・ 測定後のゼロ点の平均値は、-0.0001 kPaであった。
- ・ 圧力保持時間は30秒とした。
- ・ ライン圧力は、気体絶対圧力で102.1 kPaとした。
- ・ 電源はAC 100 Vで、3時間以上の過電流校正を行った。
- ・ 表示値は、圧力導入口の高さを基準レベルとした値である。
- ・ 校正を実施したときの校正室の環境条件
 - 温度：23.4℃～22.6℃
 - 相対湿度：57%～58%
 - 大気圧：1016 hPa

2. 使用した標準器等

標準用圧力コントローラ

(型式)
7250EJ

(製造番号)
69731

特記事項：校正品の受取後、ゼロ調整を除き修理及び調整を行わず校正を実施した。